



思い出と感謝を胸に、新たな一歩 市内中学校卒業証書授与式



3月9日、市内3中学校で卒業証書授与式が挙行されました。式は来賓や保護者、在校生が見守るなか行われ、担任から名前を呼ばれると卒業生たちは「はい」と元気よく返事をして卒業証書を受け取りました。最後のホームルームでは卒業生一人ひとりが級友、恩師、家族への感謝の気持ちを伝え、教室は感動の空気に包まれました。ご卒業おめでとうございます。

市内3中学校卒業生数

- ▷仁賀保中学校 68人
- ▷金浦中学校 30人
- ▷象潟中学校 65人



▲晴れやかな顔で卒業証書を受け取る卒業生たち。これから新たなステージへと飛び立ちます

あま酒とピアノの音色に酔いしれて にかほとひな祭り

3月3日、にかほとを会場にかほとひな祭りが開催されました。市民の厚意によるひな人形と吊るし飾りに彩られた会場では、地元の麴屋をはじめ県内外の蔵元が造ったあま酒の飲み比べができるあま酒barが設けられたほか、ピアノ「ほっこりん」の演奏会なども行われ、観光客は思い思いの形でひな祭りを楽しんでいました。



▲あま酒barにてあま酒の飲み比べをする観光客

笑顔咲かせるハーモニー にかほ市女性団体協議会 女性のつどい

3月3日、仁賀保勤労青少年ホームでにかほ市女性団体協議会主催による女性の集いが行われました。明るく住みよいまちづくりを目指し長年活動してきた当会の最後の行事。開会行事の後、男性4人組コーラスユニット・カンプレ45の活動発表と公演が行われ、彼らの楽しいトークと参加者のうた声で会場は笑顔に包まれました。



▲カンプレ45の皆さん。15曲熱唱しました

ジオパークの活動を盛り上げる 鳥海山・飛島ジオパーク事業に係る催事

2月17日、にかほとで鳥海山・飛島ジオパークの理解と活用推進のための連携に関する協定締結式、認定商品令和5年度認定式、認定ガイド第5期生認定証書授与式の3つの式が続けて行われました。

はじめに行われたのは岩城少年自然の家との協定締結式で、相互連携のもと鳥海山・飛島ジオパークエリアの発展と人材育成をとおして、地域社会に貢献することを目的に締結されました。

続いて行われた認定商品の認定式では、新たに7点の商品が追加され商品価値を高めたほか、最後に行われた新規認定ガイドへの認定書の授与式には、15人の合格者が出席し、ガイドとしての一歩を踏み出しました。



▲左：ガイドの皆さん、中央：認定商品の認定者、右：認定商品、右上：協定締結式の様子

今後の地域防災のあり方を考える にかほ市防災講演会

3月2日、仁賀保勤労青少年ホームでにかほ市防災講演会が行われました。講師を務めたのは、東日本大震災の津波から命を守り、後世に防災の大切さを伝える釜石市出身の語り部菊池のどか氏。菊池氏は自身が被災した当時の状況や、釜石市で行われていた防災教育について語り、これからの地域防災について考えるきっかけとなる講演会となりました。



▲震災発生当時の状況を話す菊池氏

郷土の偉人から夢を追う大切さを学ぶ 郷土の偉人に学ぶ作文コンクール

3月2日、にかほ市出身の白瀬轟と齋藤憲三の偉業や生き方を学び、作文で表現する「郷土の偉人に学ぶ作文コンクール」の表彰式・優秀作品発表会が金浦公民館で開かれました。小学5年生が白瀬轟、中学2年生が齋藤憲三について作文を書き、最優秀賞と優秀賞に選ばれた11人が表彰され、それぞれの作文を発表しました。



▲小学5年の部最優秀賞の作文を発表する齋藤心音さん